



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月1日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経営企画 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400
 本部部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	6,425	△12.1	284	△51.2	264	△62.8	103	△79.3
26年3月期第1四半期	7,305	20.5	583	10.5	710	36.5	499	41.2

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △119百万円 (-%) 26年3月期第1四半期 1,149百万円 (34.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	3.84	—
26年3月期第1四半期	18.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	32,735	26,995	82.5	1,000.62
26年3月期	33,683	27,223	80.8	1,009.07

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 26,995百万円 26年3月期 27,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	0.0	900	△8.3	900	△18.4	550	△18.1	20.39
通期	28,500	2.5	2,100	19.2	2,200	4.0	1,500	5.7	55.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	29,662,851株	26年3月期	29,662,851株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	2,684,264株	26年3月期	2,684,246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	26,978,594株	26年3月期1Q	26,979,789株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では堅調な消費、設備投資等を伴いながら緩やかな景気回復が続く、欧州におきましても各国の緊縮財政による影響があるものの、持ち直しの方向を持続いたしました。一方、国内経済は、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動減があったものの、企業業績や雇用環境が改善されるなど、景気の緩やかな回復基調が続きました。

当社グループを取り巻く環境について、海外ゲーミング市場では、北米地域は大寒波の影響によるカジノホールの集客数減少に伴い設備投資が減少し、低調な推移となりました。一方、国内の遊技場向機器市場では、消費税増税の影響を見極める動きから、パチンコ業界の設備投資に対する姿勢には慎重さがみられ、また、金融・流通市場においても大きな需要はみられず、盛り上がりには欠ける状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは、新たなパートナーとの協力関係の構築に努める一方で、既存取引先との関係強化を継続するとともに、未開拓市場を含めて積極的な販売活動を展開して、受注の確保・拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間における売上高は、北米地域の売上げが減少したことなどから、64億25百万円(前年同四半期比12.1%減)となりました。利益面では、営業利益は2億84百万円(前年同四半期比51.2%減)、為替相場が円高に進み、為替差損を計上したことなどから、経常利益は2億64百万円(前年同四半期比62.8%減)、四半期純利益は1億3百万円(前年同四半期比79.3%減)となりました。

なお、当第1四半期の為替レートは、米ドル102.57円(前年同四半期は92.57円)、ユーロは140.25円(前年同四半期は122.03円)で推移いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①日本地域

遊技場向機器市場において設備投資に対する慎重姿勢がみられたことなどから、当セグメントの売上高は34億40百万円(前年同四半期比1.9%減)となりました。また、為替差損を計上したことなどから、セグメント損失は97百万円(前年同四半期は1億5百万円の利益)となりました。

②北米地域

新規カジノの出店数が減少していることに加え、既存カジノに対して過去に販売した旧タイプの紙幣識別機ユニットの入替需要が一巡、さらに金融市場向け紙幣識別機ユニットの販売が減少したことなどから、当セグメントの売上高は17億51百万円(前年同四半期比30.5%減)、セグメント利益は26百万円(前年同四半期比87.2%減)となりました。

③欧州地域

ゲーミング市場向けの紙幣還流ユニットの販売は堅調に推移いたしました。金融・流通・交通市場向けの販売が減少したことなどから、当セグメントの売上高は20億34百万円(前年同四半期比4.8%減)、セグメント利益は2億89百万円(前年同四半期比17.3%減)となりました。

④アジア地域

当セグメントは、当社グループの生産機能を担っております。海外グループ会社の販売が減少したことなどから、当セグメントの売上高は18億56百万円(前年同四半期比7.8%減)、セグメント利益は49百万円(前年同四半期比14.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、327億35百万円となりました。「現金及び預金」、「仕掛品」、「原材料及び貯蔵品」及び「投資その他の資産」が増加しましたが、「受取手形及び売掛金」及び「商品及び製品」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ9億47百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は57億40百万円となりました。「支払手形及び買掛金」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ7億19百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は269億95百万円となりました。四半期純利益の計上及び退職給付会計基準変更による増加があったものの、為替換算調整勘定の減少及び配当金の支払いがあったことから、前連結会計年度末に比べ2億27百万円減少いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間では、仕入債務の減少6億44百万円などの資金の支出がありましたが、税金等調整前四半期純利益2億64百万円、売上債権の減少5億95百万円、たな卸資産の減少3億77百万円などの資金の増加がありましたので、営業活動によるキャッシュ・フローは6億35百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得による支出98百万円などの資金の支出がありましたので、1億10百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払額2億16百万円、リース債務の返済による支出57百万円などの資金の支出がありましたので、2億73百万円の支出となりました。

これらの結果に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額79百万円の資金の減少がありましたので、現金及び現金同等物は86億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1億71百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、平成26年5月9日付決算短信の発表数値からの変更はありませんが、今後の需要動向に加え、本日別途公表しております「米国フューチャーロジック社への出資(連結子会社化)に関するお知らせ」による影響などを確認の上、適時開示が必要な場合には、速やかに公表してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が166,431千円増加し、利益剰余金が107,181千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,813,989	9,954,534
受取手形及び売掛金	6,559,151	5,823,050
有価証券	107,878	84,246
商品及び製品	6,368,962	5,175,546
仕掛品	1,029,474	1,208,162
原材料及び貯蔵品	2,330,874	2,809,710
その他	895,781	861,308
貸倒引当金	△170,980	△167,915
流動資産合計	26,935,132	25,748,644
固定資産		
有形固定資産	5,112,959	5,081,007
無形固定資産	69,092	94,735
投資その他の資産		
その他	1,617,264	1,862,457
貸倒引当金	△51,342	△51,338
投資その他の資産合計	1,565,921	1,811,118
固定資産合計	6,747,974	6,986,861
資産合計	33,683,106	32,735,505
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,767,039	3,030,504
未払法人税等	55,710	94,998
賞与引当金	289,096	141,584
役員賞与引当金	27,000	—
その他	1,818,163	1,924,234
流動負債合計	5,957,009	5,191,321
固定負債		
その他	502,724	548,760
固定負債合計	502,724	548,760
負債合計	6,459,734	5,740,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,068,964	2,068,964
利益剰余金	25,520,525	25,515,459
自己株式	△2,328,593	△2,328,625
株主資本合計	27,477,841	27,472,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,329	89,753
為替換算調整勘定	△316,799	△567,074
その他の包括利益累計額合計	△254,469	△477,320
純資産合計	27,223,372	26,995,423
負債純資産合計	33,683,106	32,735,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	7,305,718	6,425,238
売上原価	4,873,993	4,097,066
売上総利益	2,431,725	2,328,171
割賦販売未実現利益戻入額	14,239	13,490
割賦販売未実現利益繰入額	—	44,736
差引売上総利益	2,445,964	2,296,925
販売費及び一般管理費	1,862,241	2,012,101
営業利益	583,722	284,824
営業外収益		
受取利息	6,669	6,031
受取配当金	10,644	9,957
為替差益	107,526	—
持分法による投資利益	—	4,653
その他	15,561	19,946
営業外収益合計	140,401	40,589
営業外費用		
支払利息	4,050	3,486
為替差損	—	57,231
持分法による投資損失	6,792	—
その他	2,657	1
営業外費用合計	13,501	60,719
経常利益	710,623	264,694
特別損失		
固定資産除却損	439	547
特別損失合計	439	547
税金等調整前四半期純利益	710,184	264,146
法人税、住民税及び事業税	169,608	134,934
法人税等調整額	40,836	25,632
法人税等合計	210,445	160,566
四半期純利益	499,738	103,580

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
四半期純利益	499,738	103,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,559	27,423
繰延ヘッジ損益	△4,633	—
為替換算調整勘定	666,142	△250,556
持分法適用会社に対する持分相当額	4,533	281
その他の包括利益合計	649,483	△222,851
四半期包括利益	1,149,222	△119,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,149,222	△119,270
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	710,184	264,146
減価償却費	115,834	136,542
引当金の増減額(△は減少)	△167,253	△177,083
受取利息及び受取配当金	△17,313	△15,988
支払利息	4,050	3,486
為替差損益(△は益)	△83,939	37,745
有形固定資産除売却損益(△は益)	439	547
持分法による投資損益(△は益)	6,792	△4,653
売上債権の増減額(△は増加)	△793,511	595,508
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,255,859	377,855
仕入債務の増減額(△は減少)	△509,834	△644,237
未収消費税等の増減額(△は増加)	204,933	89,884
その他	△4,410	51,124
小計	721,829	714,877
利息及び配当金の受取額	16,259	15,673
利息の支払額	△4,050	△3,486
法人税等の支払額	△189,658	△91,760
営業活動によるキャッシュ・フロー	544,380	635,305
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	△1,269	22,606
有形固定資産の取得による支出	△87,530	△98,061
無形固定資産の取得による支出	△7,256	△34,982
投資有価証券の取得による支出	△302	△302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,358	△110,740
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△297,002	△216,202
リース債務の返済による支出	△45,659	△57,629
自己株式の取得による支出	△764	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343,425	△273,864
現金及び現金同等物に係る換算差額	159,231	△79,285
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	263,827	171,415
現金及び現金同等物の期首残高	6,982,706	8,488,719
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,246,533	8,660,134

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本地域	北米地域	欧州地域	アジア地域	
売上高					
外部顧客への売上高	2,606,641	2,492,090	2,133,441	73,545	7,305,718
セグメント間の内部売上高又は振替高	899,848	28,523	3,318	1,939,654	2,871,345
計	3,506,489	2,520,613	2,136,760	2,013,200	10,177,063
セグメント利益	105,557	206,535	349,417	57,692	719,202

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	719,202
未実現利益の消去	△13,603
全社収益	10,624
その他の調整額	△5,600
四半期連結損益計算書の経常利益	710,623

(注) 全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本地域	北米地域	欧州地域	アジア地域	
売上高					
外部顧客への売上高	2,649,894	1,742,993	2,032,350	—	6,425,238
セグメント間の内部売上高又は振替高	790,665	8,799	2,394	1,856,302	2,658,161
計	3,440,559	1,751,792	2,034,745	1,856,302	9,083,399
セグメント利益又は損失(△)	△97,257	26,478	289,036	49,427	267,684

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	267,684
未実現利益の消去	△12,947
全社収益	9,957
四半期連結損益計算書の経常利益	264,694

(注) 全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。